

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1976年3月	1巻1号	創刊のことば	梅棹 忠夫
		ミへの儀礼 —メキシコの土着宗教とカトリック	黒田 悦子
		ルカイ族の焼き畑農業 —その技術と儀礼についての調査報告	佐々木 高明・深野 康久
		シロフミ田下駄の諸系列 —用具論的に	中村 俊亀智
		中川五郎治の見たシベリア諸民族	加藤 九祚
		Performers of FulBe Oral Arts in Diamare Prefecture	EGUCHI, Paul Kazuhisa
		ニューギニアの収集品から	中山 和芳
		ヨーロッパ諸国の博物館視察(1)	大給 近達
		ヨーロッパの調査収集(1) —フィンランド	和田 祐一
		西アフリカ収集調査雑記	端 信行
		HRAFとの協力体制はじまる	祖父江 孝男
		『国立民族学博物館研究報告』のあり方について	梅棹 忠夫
		1976年7月	1巻2号
中央アンデス・ワヌコ地域の石器文化	藤井 龍彦		
間宮林蔵の見たギリヤク族(1)	加藤 九祚		
Mbum Circumcision Songs	EGUCHI, Paul Kazuhisa		
Apuntes Sobre la Historia de los Mixe de la Zona Alta, Oaxaca, Mexico	KURODA, Etsuko		
Kumupaの塩 —イリアン・ジャヤ中央高地の物質文化(1)	石毛 直道		
視角的思考をめぐる覚え書 —構造主義の交換論的視点から	泉 幽香		
トーレス海峡諸島調査記	杉本 尚次		
オセアニア民族資料収集調査記	石森 秀三		
中南米研究調査の旅から	藤井 龍彦		
ゾロアスター教徒の衣裳 —西アジア収集の回想	藤井 知昭		
インドネシア民族資料調査収集旅行ノートから	吉田 集而		
タイ稲作社会の調査より —タマサート大学	田邊 繁治		

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1976年10月	1巻3号	中部ジャワ農村の儀礼的食物交換 —スラカルタ地方の事例より	関本 照夫
		東部パイワン族の家族と親族 —ta-djaran(1つの路)の概念を中心として	松澤 員子
		ドゥル族の季節観と農作業暦	端 信行
		中央アンデスMiddle Horizonの成立について	藤井 龍彦
		トバ・バタック族の親族呼称について	吉田 集而
		島根半島一漁村の親類	大胡 修
		交通手段 —イリアン・ジャヤ中央高地の物質文化(2)	石毛 直道
		アメリカ合衆国の自然史博物館	宮本 繁雄
		ヨーロッパ諸国の博物館視察(2)	大給 近達
		韓国の民俗音楽調査から —研究教育機関等の訪問を中心に	櫻井 哲男
1977年1月	1巻4号	ノーンパーマンの灌漑体系 —ラーンナータイ稲作農村の民族誌的研究(1)	田邊 繁治
		アイヌのキテ(回転式離頭銚)の諸系列 —形態分類と編年	大塚 和義
		ヤオ族の姓と命名法	竹村 卓二
		東北地方タケカゴ細工の基調 —日本列島におけるカゴ細工の諸系列(1)	中村 俊亀智
		ウロス —トバ・バタック族の布について	吉田 集而
		ヨーロッパ諸国の博物館視察(3)	大給 近達
		サン・ルイ断章 —在外研究活動の記録	端 信行
		国立民族学博物館における研究のあり方について	梅棹 忠夫
1977年3月	2巻1号	文章完成法テストよりみたイタリア人のパーソナリティ:日本人およびアメリカ人との比較分析	祖父江 孝男
		竜神(竜女)説話と竜舟祭(1)	君島 久子
		民俗音楽の概念についてのひとつの試み	櫻井 哲男
		ハヌヌー・マンガヤン社会の構成について	宮本 勝
		ニューギニア高地における一時的狂気の構造	中山 和芳
		九州地方の民家研究展望	杉本 尚次
		関東地方のタケカゴ細工の展開 —日本列島におけるタケカゴ細工の諸系列(2)	中村俊 亀智
		中央アンデスのチャンカイ文化と天野博物館について	藤井 龍彦
		東アフリカ収集調査ノートより	和田 正平

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1977年7月	2巻2号	ミクロネシアの養取慣行 一族制, 土地所有, 分配体系との関連で	須藤 健一
		Violence and Legal Sanction in an East African Town	OMORI, Motoyoshi
		マオリ研究の系譜とその展開	石森 秀三
		慶良間群島の祭団連合 一沖繩の民族宗教ノート(1)	伊藤 幹治
		中部地方タケカゴ細工の諸相 一日本列島におけるカゴ細工の諸系列(3)	中村 俊亀智
		アメリカ合衆国にラテンを求めて 一ニュー・メキシコからメキシコへの旅	黒田 悦子
		ブルガリア民族学の旅	加藤 九祚
		国立民族学博物館ハルマヘラ調査隊概報	石毛 直道
1977年10月	2巻3号	ハルマヘラ島における民俗方位の構造	吉田 集而
		野生堅果類, とくにトチノミとドングリ類のアク抜き技術とその分布	松山 利夫
		人間関係における認知の形式に関する一考察 一アマゾン・カマユラ族の親族事例	大給 近達
		ミクロネシア・プルスク島における家屋と住まい方	中村 基衛
		中央アンデス地帯の染織文化 一その文化史的観点からの一考察	藤井 龍彦
		近畿地方のタケカゴ細工 一日本列島におけるカゴ細工の諸系列(4)	中村 俊亀智
1978年2月	2巻4号	物質文化から見た現代家庭	栗田 靖之
		伝統的漁撈における技能の研究 一下北半島・大間のババガレイ漁	秋道 智彌
		守護聖人の祭りにみられる民俗芸能について 一メソ・アメリカの例の比較の試み	黒田 悦子
		古宇利島の聖地と折目 一沖繩民俗宗教ノート(2)	伊藤 幹治
		中国地方タケカゴ細工の一側面 一日本列島におけるカゴ細工の諸系列(5)	中村 俊亀智
		コスタ・ヘタグロフ著『オーソバ』一オセチア人の民族学的概説	加藤 九祚
1978年3月	3巻1号	セニャル儀礼の増殖表象 一中央アンデスの家畜増殖儀礼	友枝 啓泰
		新・楽器分類法	櫻井 哲男
		結界について(I) 一日本の境界標示装置	垂水 稔
		ハモンド島(トレス海峡)の村落と住居	杉本 尚次
1978年9月	3巻2号	新粟のチマキと豊猟の占い 一ルカイ族・パイワン族のアワ祭り抄	佐々木 高明
		ハルマヘラ島, Galela族の食生活	石毛 直道
		ハルマヘラ島, Galela 族の食生活調査データのコンピュータ処理について 一食生活分析システム“MEAL”	山本 順人
		物資文化研究の方法をめぐって	祖父江 孝男・大給 近達・中村 俊亀智・大塚 和義
		農業をめぐる人のカテゴリーと相互関係 中部ジャワの一事例	関本 照夫
		トバ・バタック族における病気の民俗分類	吉田 集而
		Limau 村の家族, 親族, 村落の構造 一ハルマヘラ調査ノート	松澤 員子
		Limau 村の漁撈活動 一ハルマヘラ調査ノート	大胡 修

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1979年1月	3巻3号	サンゴ礁海域における磯漁の実態調査中間報告(1) —石垣市登野城地区漁民社会の若干の分析	端 信行
		サンゴ礁海域における磯漁の実態調査中間報告(2) —石垣市登野城地区漁民社会の潜水漁法	須藤 健一
		ミへの歴史と内なる“歴史” —Apuntes sobre la Historia de los Mixes de la Zona Alta, Oaxaca, México後記	黒田 悦子
		The Geographical Distribution of Sago-Producing Palms	RUDDLE, Kenneth
		A Brief Account of the Life of Zigla according to Musgum Tradition	EGUCHI, Paul Kazuhisa
1979年3月	3巻4号	過山ヤオ族の二つの起源神話〈槃瓠〉と〈渡海〉 —種族的アイデンティティの生成と淘汰	竹村 卓二
		台湾南部山地およびバタン諸島のアワの特性とその民族植物学的考察	阪本 寧男
		アンデス高地の環境利用 —垂直統御をめぐる問題	大貫 良夫
		オロッコ族の病気に対する呪符	和田 完
		結界について(Ⅱ) —境界的結界	垂水 稔
		A Preliminary Bibliography for the Study of Customary Laws of Southeast Asia and Taiwan	ISHII, Yoneo (ed.)
		明治初期の飛騨地方における堅果類の採集と農耕	松山 利夫
1979年7月	4巻1号	民族学研究における情報処理 —コンピュータ民族学について	杉田 繁治
		Haxāmaniš-朝初期における小家畜管理	川瀬 豊子
		九州山地の民家 —椎葉・米良地域を中心に	杉本 尚次
		沖縄本島北部農村の「門中」とその論理 —沖縄の民俗宗教ノート(3)	伊藤 幹治
		国立民族学博物館所蔵の東南アジア島嶼部採集のカゴ細工について	中村 俊亀智
1979年10月	4巻2号	サタワル島の数占い —その基本体系について	石森 秀三
		カヌーをめぐる社会関係—ミクロネシア, サタワル島の社会人類学的調査報告	須藤 健一
		明治初期・飛騨地方における生産魚類の分布論的研究	秋道 智彌
		国立民族学博物館所蔵の巻きカゴ細工, とくに国内資料について	中村 俊亀智
		西アフリカ収集調査行から	小川 了

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1980年1月	4巻3号	島根半島一漁村における漁撈活動	大胡 修
		モンゴル人民共和国の伝統的物質文化 —ビャトキナ著『モンゴル人民共和国のモンゴル人』から	加藤 九祚
		国立民族学博物館所蔵の第一次東南アジア稲作調査団採集のカゴ細工について	坪郷 英彦
		ヨーロッパの民俗学・民族学博物館 —1978年夏の訪問記録から	杉本 尚次
		国立民族学博物館西アフリカ学術調査概報	和田 正平
1980年3月	4巻4号	色彩の認知と分類 —東アフリカの牧畜民Bodi族	福井 勝義
		復活祭をめぐる儀礼の過程の変形と意味 —メソ・アメリカの民俗的想像力との出会い	黒田 悦子
		家元制度 —その形成をめぐって	守屋 毅
		「文明化」についての試論(上) —ノルベルト・エリアス『文明化の過程』に寄せて	野村 雅一
		現代和服の変貌 —その設計と着装技術の方向に関して	大丸 弘
		国立民族学博物館所蔵の曲物細工について	中村 俊亀智
1980年3月	5巻1号	The Crisis in Dryland Pastoral Economies: An Essay in Applied Human Ecology	Kenneth RUDDLE
		ペルー南部における海岸と高地の交流	増田 昭三
		南部ペルーのアンデス西斜面における環境利用	大貫 良夫
		南部ペルーアンデス西斜面地域の先スペイン文化	藤井 龍彦
		中央アンデス南部高地の環境利用 —ペルー、クスコ県マルカパタの事例より	山本 紀夫
		中央アンデス南部農村の家族、親族とアイユウ —姻族(qata/q' ačun)を中心に	佐藤 信行
		中央アンデスの民話とアマゾンの神話 —栽培植物・労働・死の起源	友枝 啓泰
Las Relaciones entre las Tierras Altas y la Costa del Sur del Perú —Fuentes documentales	Franklin PEASE, G. Y.		
1980年10月	5巻2号	ハワイにおける日系霊能者と民間信仰 —オアフ島の女性霊能者の事例	中牧 弘允
		二者関係と経済取引 —中部ジャワ村落経済生活の研究	関本 照夫
		チベット語の色彩語彙	長野 泰彦
		貝塚データベース —その作成と応用	及川 昭文・宮本 定明・小山 修三
		民族学データの統計的解析のための汎用ソフトウェアシステム —民具データへの応用を中心として	八村 廣三郎
ヨーロッパ民家の民族学的・地理学的研究 —野外博物館の民家を中心として	杉本 尚次		
A Note on Palauan Food Categories: <i>Odóim</i> versus <i>Ongráol</i>	AKIMICHI, Tomoya		

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1981年1月	5巻3号	Satawal 島における伝統的航海術 —その基本的知識の記述と分析	秋道 智彌
		チペワイアンのトナカイ狩猟活動系 —生態人類学的視点から	煎本 孝
		フルベ族の牧畜と農耕をめぐる諸問題 —シェンゲルベ・グループの生業に関する民族誌的研究	小川 了
		コーヒー・ドーナツ・プロジェクト —心理の図形化手法についての研究ノート	小山 修三
		国立民族学博物館所蔵の労働衣服 —国内採集の上半衣について	西村 綏子
		国立民族学博物館所蔵の労働衣服 —国内採集の下半衣について	日浅 治枝子
		国立民族学博物館所蔵の労働衣服 —とくに刺子の形態・染織の分析	山崎 光子
		A Preliminary Survey of Fish Cultivation in Ricefields, with Special Reference to West Java, Indonesia	RUDDLE, Kenneth
1981年3月	5巻4号	指示詞にみられる空間分割の類型とその普遍性	吉田 集而
		アンデス地域, トラの民族植物誌	山本 紀夫
		母系社会における忌避行動 —マイクロネシア・サタワル社会の親族体系(1)	須藤 健一
		セニャル儀礼の呪物イリャ —中央アンデスの家畜増殖儀礼	友枝 啓泰
1981年3月	6巻1号	海外駐在員の生活と意識調査報告	栗田 靖之・八村廣三郎
		“悪い魚”と“良い魚” —Satawal 島における民族魚類学	秋道 智彌
		フルベ族, ジェンゲルベ・グループの移牧に関する事例報告	小川 了
		国立民族学博物館の展示と保存環境に関する検討 —異常環境の発見を主として	森田 恒之
		背中あての諸形態 —国立民族学博物館博物館所蔵の標本資料によって	中村 俊亀智
1981年10月	6巻2号	県民性再考 —文章完成法テストにあらわれた日本人パーソナリティの地域差	祖父江 孝男
		縄文時代の人間—植物関係 —食糧生産の出現過程	西田 正規
		チノギ賽神における祖上と神霊 —韓国京畿道楊州郡K洞の事例	重松 真由美
		言語的ブリコラージュとしてのフォークロア —ロシア・フォークロアにおける語源的文彩(gura etymologica)	伊東 一郎
		国立民族学博物館所蔵のドンザ —形態, 材質, 染織の分析	山崎 光子
1982年2月	6巻3号	『斐太後風土記』による食糧資源の計量的研究	小山 修三・松山 利夫・秋道 智彌・藤野 淑子・杉田 繁治
		パリの日本人学校における文化背景の異なる生徒をめぐる	大森 康宏
1982年3月	6巻4号	カヌーと航海にまつわる民話	須藤 健一
		マイクロネシアSatawal 島の伝統的航海術の外延	SAUCHOMAL, Sabino
		スラヴ人における人狼信仰	伊東 一郎
		生業, 市, 商人 —オアハカ地方経済の中のミヘ社会素描(メキシコ)	黒田 悦子
		文化遺物における製作技術調査法としての紫外線側光の利用について	森田 恒之
		The Classification of Musical Instruments Reconsidered	SAKURAI, Tetsuo

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1982年3月	7巻1号	トレス海峡地域の集落と住居	杉本 尚次
		客家文化考 一衣・食・住・山歌を中心に	周 達生
		チャフルのインシル語歌謡	馬淵 卯三郎・八杉 佳穂
1982年9月	7巻2号	Systematic Classification of the Pit Dwellings of Modern Food-gatherers from an Ecological Point of View	WATANABE, Hitoshi
		ムラという結界 一滋賀県高島郡朽木村の事例をめぐって	垂水 稔
		南インドの右手・左手集団と祭礼騒擾 一カースト伝承と儀礼を中心に	重松 伸司
1983年1月	7巻3号	家屋の建築・修復に関する伝統的知識と技術 一マイクロネシア・エラート環礁の場合	杉藤 重信
		北ハルマヘラ諸語の子音対応とガレラ語の示す古音	和田 祐一
		A Historical Study of gLo Tibetan	NAGANO, Yasuhiko
		マヤ文字の言語	八杉 佳穂
		『ムラク王統記』におけるマレー語動詞文の構造	柴田 紀男
		会話場面における人の概念の類型論(Ⅰ) 一人称代名詞の etic な成分の再考	吉田 集而
		ブラジル北東部における民衆の小冊子 一リテラトゥーラ・デ・コルデル	荒井 芳廣
1983年3月	7巻4号	明治初期における山村の食事と栄養 一『斐太後風土記』の分析を通じて	藤野 淑子
		博物館とコンピュータ	及川 昭文・Raymond, V EZINA
		フルベ語色彩語彙 一色彩基礎語彙に関する一考察	小川 了
1983年3月	8巻1号	中央アンデスの根裁類加工法再考 一とくにペルー・アンデスの水さらし技法をめぐって	山本 紀夫
		『マライ編年史』の代名詞 一KWICにもとづく比較研究	崎山 理
		法学における慣習法概念	千葉 正士
1983年8月	8巻2号	タイの伝統法 一『三印法典』の性格をめぐって	石井 米雄
		『マンラーイ法典』における土地侵犯と所有	北原 淳
		東北タイ及びラオスの古代法 一Kotmai Khosaratを中心に	吉川 利治
		日系キリスト教会の展開と日系キリスト教徒の意識 一カリフォルニア州サクラメントの事例	中牧 弘允
		A Hindu Worship Service in Sixteen Steps, <i>Shodaśa-upacāra-pūjā</i>	TACHIKAWA, Musashi
1983年8月	8巻2号	部族社会における近代政治の過程	畑中 幸子
		中部日本白山麓住民の季節的放浪慣行 一牛首地区の事例を中心に	千葉 徳爾・三枝 幸裕
		会話場面における人の概念の類型論(Ⅱ) 一その類型と類型的世界的分布	吉田 集而
		ウラル語族における等位表現の類型	庄司 博史
		ベリンジアからみた新大陸文化起源の諸問題	小谷 凱宣

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1983年12月	8巻3号	庶民生活の論理と表現 —スペイン, 南部エストレマドゥーラの町の例から	黒田 悦子
		下エジプトの親族集団内婚と社会カテゴリーをめぐる覚書	大塚 和夫
		アチック・ミュージアムの足どり —収蔵原簿の分析から	中村 俊亀智
		「悪童物語」の展開	小川 了
		カザフ族の遊牧生活	加藤 九祚
1984年3月	8巻4号	西欧人のキモノ認識	大丸 弘
		アチック民具研究の道すじ —収蔵状況とのかねあいにおいて	中村 俊亀智
1984年3月	9巻1号	セネガルの舞踊と日常動作の関連に関する研究ノート	小川 了
		縄文人口シミュレーション	小山 修三・杉藤 重信
		アチック・ミュージアムのあとに —財団法人日本民族学協会附属民族学博物館のこと	中村 俊亀智
		会場場面における人の概念の類型論(Ⅲ) —類型の発達とその機構	吉田 集而
		カザフの木工調度 —その接着・接合について	木村 法光
1984年8月	9巻2号	ファレアタの地縁組織 —サモア社会における称号システムの事例研究	山本 真鳥
		サンゴ礁の島における土地保有と資源利用の体系 —ミクロネシア, サタワル島の事例分析	須藤 健一
		ニューギニア低地・ギデラ族における小児の病気と治療	秋道 智彌
		アッラー, 神, アラーの神 —イスラームの日本的理解をめぐる一考察	大塚 和夫
		民族誌映画の撮影方法に関する試論	大森 康宏
1984年12月	9巻3号	Normative Models and Human Behavior: Some Theoretical Issues in Household Resource Use	Kenneth Ruddle
		嘉戎語の動作の様態を示す接辞	長野 泰彦
		古代インド祭式文献に記述された穀物料理	永ノ尾 信悟
		衣服標本属性論 —MCD標本シソーラス — I 固有属性	大丸 弘
		民族誌映画の編集にかかわる試論	大森 康宏
1985年3月	9巻4号	文字使用の目的	柴田 紀男
		ホメロスの詩と文字使用	小川 正広
		李朝の韻書と漢詩押韻の変革 —文字使用政策の一例として	佐藤 進
		サタワル島における伝統的航海術の研究 —島嶼間の方位関係と海域名称	秋道 智彌
		嘉戎語の人称接辞	長野 泰彦
1985年3月	9巻4号	多言語使用と手紙 —ザイル共和国キヴ湖西岸の事例から	梶 茂樹
		環日本海文化の変遷 —花粉分析学の視点から	安田 喜憲
		アステカ社会における衣裳と職務 —アステカ王権に関する一考察	小林 致広
		ポナペ島におけるキリスト教の受容をめぐる社会変化	中山 和芳

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1985年7月	10巻1号	中央アンデスの農民と牧民の結婚 —パンパマルカ教区(アプリマク県)婚姻登録の分析	藤井 龍彦・友枝 啓泰
		ボリビア北西部・アンデス東斜面のケチュア農村における環境利用 —アマレテ村の事例	木村 秀雄
		ユカテクマヤ語の正書法の歴史 —マヤ人の文字使用との関連において	八杉 佳穂
1985年10月	10巻2号	「スバシ写本」の願望法語尾 —仏教サンスクリット成立の一局面	中谷 英明
		現代和服の変貌 —着装理念の構造と変容	大丸 弘
		ミンドロ島ハヌノオ・マンヤン族の‘裁判人’	宮本 勝
1985年10月	10巻2号	下エジプトのムスリムにおける結婚の成立過程 —カリュービーヤ県ベンハー市とその周辺農村の事例を中心に	大塚 和夫
		アンデス東斜面渓谷部, ケチュア農民の生業と交易活動	細川 弘明
		国立民族学博物館所蔵の韓国の収納家具 —その技術とデザイン	車 政弘
1985年10月	10巻2号	熊祭の歴史民族学的研究 —学史的展望	大林 太良
		クマ祭に集まる人 —狩猟儀礼に表出するエヴェンキ族の社会構成原理について	佐々木 史郎
		“Pollution”, “Purity” and “Sacred”: The Ideological Configuration of Hindu Society	SEKINE, Yasumasa
1985年10月	10巻2号	巫俗儀礼の音 —韓国済州島の事例から	櫻井 哲男
		嘉戎語の能格性	長野 泰彦
		中緯度森林の定住民	西田 正規
1986年2月	10巻3号	パプアニューギニア, イワム族の農耕に関する民俗分類の予備的報告	吉田 集而
		服装専門検索語辞書(MCDシソーラス)の構造	大丸 弘・高橋 晴子
		12イマーム派シーア主義におけるイマーム・アリー的位置について —イラン人ムスリムの場合	嶋本 隆光
1986年2月	10巻3号	民族資料の展示におけるクールビームライト照明の影響について(1)	森田 恒之
		Labor Supply and Demand in a Complex System: Integrated Agriculture-Aquaculture in the Zhujiang Delta, China	Kenneth Ruddle
		ミクロネシアにおける母系制社会の変質 —トラック語圏社会の出自集団の構造	須藤 健一
1986年3月	10巻4号	サタワル島における伝統的航海術の研究 —洋上における位置確認方法とエタック(yeták)について	秋道 智彌
		現代イスラームにおける宗教勢力と政治的対立 —カイロにおけるアズハル=フセイン複合体とサラフィー主義	小杉 泰
		ブラーフマナ文献の祭式解釈 —古代インド季節祭 Cāturmāsya を例として	永ノ尾 信悟
1986年3月	10巻4号	チェレミス語とヴォチャーク語における引用小辞 —ウラル諸語におけるチュルキ的引用表現	庄司 博史
		民具研究の展開 —1960年以後	中村 俊亀智
		中東・北東アフリカに見られる憑霊信仰ザールの伝播経路に関する一考察	清水 芳見
		Rural Reforms and Household Economies in the Dike-Pond Area of the Zhujiang Delta, China	Kenneth Ruddle

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1986年8月	11巻1号	東アジアの魚醤 一魚の発酵製品の研究(1)	石毛 直道
		東北農村におけるキリスト教の受容	伊藤 幹治
		コンピュータ民族学序説	杉田 繁治
		雨と紛争 一ナイル系パリ社会における首長殺しの事例研究	栗本 英世
		マヤ文字の分析 I 一ナランホ	八杉 佳穂
		ヨーロッパの野外博物館 一その民族学的・地理学的研究	杉本 尚次
		Energy Exchanges and the Energy Efficiency of Household Ponds in the Dike-Pond System of the Zhujiang Delta, China	Kenneth Ruddle, Deng Hanzeng, Liang Guozhao
1986年12月	11巻2号	オーストロネシア語族とパプア諸語の言語接触 一とくに語順変化について	崎山 理
		ジャワ神秘主義の民族誌	関本 照夫
		ラダック王国史の人類学的考察 一歴史-生態学的視点	煎本 孝
		ブータン・ヒマラヤの生業形態の多様性	栗田 靖之
		狩猟採集民集落平面形の体系的分類 一社会生態学的・進化的研究	渡辺 仁
		中国文献にみる龍舟競渡 一方志資料を中心として	君島 久子
		東アジア・東南アジアのナレズシ 一魚の発酵製品の研究(2)	石毛 直道
1987年2月	11巻3号	住空間の民族誌 一中国江南の伝統的住居をめぐって	浅川 滋男
		近代エジプトにおけるスーフィー教団について	古林 清一
		ネワール語の能格現象	長野 泰彦
1987年3月	11巻4号	現代チベット語方言の分類	西 義郎
		中国の高床式住居 一その分布・儀礼に関する研究ノート	周 達生
		XVI and XVII Century Relationships among Portuguese and Dutch and their Reflexions in Japan	Joseph M. Luyten
		The Supply of Marine Fish Species for Fermentation in Southeast Asia	Kenneth Ruddle
		The Ecological Basis for Fish Fermentation in Freshwater Environments of Continental Southeast Asia: with Special Reference to Burma and Kampuchea	RUDDLE, Kenneth
1987年9月	12巻1号	中央アンデスの定期市 一ボリビア領ラパス県高地部の事例	藤井 龍彦
		メキシコの仮面 一芸能による分類の試み	黒田 悦子
		専門図書館における非図書資料の位置づけ 一服装情報サービスの基本技術	大丸 弘・高橋 晴子
		Ritual Application of Mensuration Rules in India: An Edition of Ganeśa's <i>Kundasiddhyudāhrti</i> with Mathematical Commentary	HAYASHI, Takao
		東南アジアの魚醤 一魚の発酵製品の研究(5)	石毛 直道・ケネス ラドル
1987年11月	12巻2号	手織機の構造・機能論的分析と分類	吉本 忍
		剝船発達諸形態の分類と地域類型 一日本とその隣接地域を中心として	出口 晶子
		アイヌのお産 一和田文治郎遺稿	和田 完
		19世紀中葉以前におけるアイヌの通過儀礼 一松浦武四郎筆画『蝦夷風俗画誌』稿本を中心に	大塚 和義

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1988年2月	12巻3号	東南アジアの焼畑における陸稲化現象 —その実態と類型	佐々木 高明
		アーネムランド・アボリジニ, ジナン族の狩猟と食物規制	松山 利夫
		械闘と村落連合 —香港新界中西部5郷の事例より	瀬川 昌久
		異文化環境におけるムスリム —カナダにおけるアラブムスリム社会の形成	片倉 もとこ
		ピーボディー科学アカデミーの成立 —モース研究の一環として	守屋 毅
		魚醤の化学分析と「うま味」の文化圏 —魚の発酵食品の研究(6)	水谷 忠士・君塚 明光・ケネ ス ラドル・石毛 直道
1988年3月	12巻4号	マヤ文字の分析Ⅱ —パレンケ	八杉 佳穂
		セントラル・カラハリ・サンにおける訪問者と居住者の社会関係と対面相互 行為 —!Koi !kom 定住地での訪問活動の観察より	菅原 和孝
		滋賀県湖東—山村における狐憑きの生成と変容—憑依表現の社会-宗教 的, 臨床的文脈	江口 重幸
		文字創製・改革にみた中国少数民族政策	庄司 博史
1988年7月	13巻1号	国家的過程のなかの民族文化 —インドネシア, トラジャにおける伝統的文 化の現代的位相	山下 晋司
		オーストラリア・アボリジニ社会再編成の人口論的考察	小山 修三
		クーラとタンボール —北部ブラジルの憑霊カルトにおける成巫過程	古谷 嘉章
		航海術と海の生物 —ミクロネシアの航海術における Pwukof の知識	秋道 智彌
1988年10月	13巻2号	舞台装置としての家屋 —東インドネシアにおける家屋のシンボリズムに関 する一考察	杉島 敬志
		祭祀と地域性 —ビルマ・ラングーン研究から	高谷 紀夫
		遍在する邪術, 見えない邪術 —北部マダガスカル ツイミヘティ族社会に おけるある邪術告発についての一考察	深澤 秀夫
		北太平洋沿岸文化圏 —狩猟採集民からの視点	渡辺 仁
		「ヤクートと家畜」の原像を求めて —オロンホを読む	斎藤 晨二
		魚醤とナレズシの名称 —魚の発酵製品の研究(7)	石毛 直道・崎山 理
		アーネムランド・アボリジニ, ジナン族の星まつり —国立民族学博物館海外 映像音響資料収集の記録	松山 利夫
1989年1月	13巻3号	カーリー女神の変貌 —スリランカ・タミル漁村における村落祭祀の研究	田中 雅一
		シンハラ農村の労働交換体系	足立 明
		トーゴ北部諸族の技術誌をめぐる諸問題 —パレオニグリティックを中心に	和田 正平
		方陣の歴史 —16世紀以前に関する基礎研究	林 隆夫
1989年3月	13巻4号	夸父と造父 —構造分析の試み	大林 太良
		韓国祖先祭祀の変化 —都市アパート団地居住者を中心に	朝倉 敏夫
		濟州島における歌の形成 —音から音楽へ	櫻井 哲男
		子の監護と婚資返却 —グシイにおける離婚訴訟の分析	松園 万亀雄
		「水の精霊」とイスラム —ホゾ族における社会変化と宗教変化	竹沢 尚一郎
		Preliminary Remarks on the Phonological Implications of Word Play in Modern Shanghai	Michael L. Sherard

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1989年7月	14巻1号	ダルマの力と帰依者たち —東北タイにおける仏教とモータム	林 行夫
		両手の拳, 社会, 宇宙 一手の指による数の指示法に組み込まれたキプシギスのコスモロジー	小馬 徹
		チカーノの来た道 —その歴史的経緯	黒田 悦子
		魚醤の起源と伝播 —魚の発酵製品の研究(8)	石毛 直道
1989年10月	14巻2号	中米の言語の語順の類型論的研究	八杉 佳穂
		Mahādevapūjā —Mithilā 地方の事例報告	永ノ尾 信悟
1990年2月	14巻3号	中国広西のチュアン(壮)族・ヤオ(瑶)族と漢族との政治=文化的関係の比較考察 —1368-1949年における	塚田 誠之
		中米諸語の数体系	八杉 佳穂
1990年3月	14巻4号	アムール川下流域諸民族の社会・文化における清朝支配の影響について	佐々木 史郎
		アーネムランド・アボリジニの生活史 —ジナン族ガマディ・アウトステーションに居住する2人の男性の事例	松山 利夫
		異文化環境のアラブムスリム —ヴァンクーヴァーのエジプト人ムスリムの事例研究	片倉 もとこ
		En Busca de Santa Rosa: Reflexiones en Torno a una Biografía Duradera	Luis Millones
1990年8月	15巻1号	La Fiesta de los Cuzqueños: la Procesión del Corpus Christi	Jorge A. Flores Ochoa
		インドネシアにおける手織機の類型論的研究 —(1)形式と分布	吉本 忍
		死と蘇生 —ケニアのテリック人とティリキ人の死の文化の変遷	小馬 徹
		中米諸語の序数詞	八杉 佳穂
1990年12月	15巻2号	ヒマラヤ諸語の分布と分類(上)	西 義郎
		ボリビアの農民 —農民の「行動の記録」の分析(その1)	藤井 龍彦
		司祭と霊媒 —スリランカ・タミル漁村における村落祭祀の分業関係をめぐって	田中 雅一
1991年3月	15巻3号	インド密教の図像学的資料(1) —『サーダナ・マーラー』における獅子吼観自在の成就法	佐久間 留理子
		リオ族における農耕儀礼の記述と解釈	杉島 敬志
1991年3月	15巻4号	サーミ民族運動における言語復権の試み	庄司 博史
		フェリアの変貌 —スペイン, エストレマドゥーラの家畜・産業・祝祭市	黒田 悦子
		歌謡曲の歌詞に見る旅 —昭和の歌謡史・私論	久保 正敏
		Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 1. am i, 2. ay/I, 3. as/s	Toshifumi Gotō
		インド密教儀礼における水	森 雅秀
		Abbatial Successions of the Colleges of gSang phu sNe'u thog Monastery	Shunzo Onoda
1991年8月	16巻1号	A Study of the <i>Vajradhātu-mandala</i> (1): Modern Line-drawings depicted according to the <i>Nispannayogāvalī</i>	Musashi Tachikawa
		Manus Fish Names	Tomoya Akimichi, Osamu Sakiyama
1991年8月	16巻1号	ヒマラヤ諸語の分布と分類(中)	西 義郎
		ナイル川流域における土地利用と灌漑農業をめぐる社会的諸関係 —北スーダン・ナイル県の一村落の事例報告	大塚 和夫

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1991年12月	16巻2号	オーストリア農村における「家の墓」と女性のサービス	森 明子
		アムール川下流域とサハリンにおける文化類型と文化領域 —レーヴイン, チェボクサロフの「経済・文化類型」と「歴史・民族誌的領域」の再検討	佐々木 史郎
		A Study of the Mixe Language of the Eighteenth Century: Confesonario en lengua Mixe by Quintana	Yoshiho Yasugi
1992年3月	16巻3号	ボリビアの農民 —農民の「行動の記録」の分析(その2)	藤井 龍彦
		モンゴルにおけるウマ, ウシ, ヒツジの搾乳儀礼 —祝詞にもとづく再構成の試み	小長谷 有紀
		首長制とキリスト教 —ミクロネシア, ポーンペイ島とコジャエ島の事例	中山 和芳
1992年3月	16巻4号	Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 4. <i>dogh/dugh/doh/duh</i> , 5. <i>sav/su</i> , 6. ¹ <i>savⁱ/sū</i> , 7. ² <i>(savⁱ)/sū</i>	Toshifumi Gotō
		マダガスカルの民族移動と言語形成 —民俗語彙・植物名称の意味的変遷から	崎山 理
		紀年銘唐箕の形態分類	近藤 雅樹
1992年7月	17巻1号	モロコシの多様化選択と品種の生成 —エチオピア西南部におけるクシ系農牧民エルボレの事例から	宮脇 幸生
		「劇場国家」から「旅行者の楽園」へ —20世紀パリにおける「芸術-文化システム」としての観光	山下 晋司
		採取民コエグの歌とダンス —エチオピア西南部, オモ川下流平原の民族間関係	松田 凡
		コエグの人と魚 —環境認識の習得	稗田 乃
1992年12月	17巻2号	The Surviving Whale-Tooth: Cultural Significances of Whale Products in Oceania	Tomoya Akimichi
		La Danza de la Degollación del Inca	Luis Millones, Hiroyasu Tomoeda
		チュワン族の年中行事に関する史的考察 —成立過程を中心に	塚田 誠之
		基諾族的刀耕火種 —兼与云南其它刀耕火種民族的比較	尹 紹亭
		香港新界における宗族の発展と墓地風水 —族譜を通じた分析	瀬川 昌久
		現代チベット語における動詞の分類	高橋 慶治
1993年2月	17巻3号	「国民的出稼ぎ現象」の社会・経済的影響 —北イエメンの20年	佐藤 寛
		永遠の未開文化と周辺民族 —近代西欧人類学史点描	清水 昭俊
		カメルーン北部・フルベ族の挨拶の言語表現	江口 一久
		タイにおける共同体文化論の潮流	チャティップ・ナートスパー
		An Overview of Igbo Oral Literature	Onuigbo G. Nwoye
		Au sujet de l'origine des Peuls, d'après les legends	Galina V. Zubko
1993年3月	17巻4号	An Areal-Typological Study of Phonological Systems of Middle American Indian Languages	Yoshiho Yasugi
		現代韓国社会における〈伝統文化〉の研究の現状と展望	朝倉 敏夫
		An Observation on the Genesis and Development of Tibeto-Burman Tones	Dai Qingxia

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1993年7月	18巻1号	オセアニア・琉球・日本の国生み神話と不完全な子 —アマンの起源	崎山 理
		カメルーン高地農民の経済生活—その変容のメカニズム	端 信行
		漁業儀礼考 —スリランカ・タミル漁村における地曳網漁をめぐって	田中 雅一
		近江のフナズシの「原初性」—わが国におけるナレズシのプロトタイプをめぐって	日比野 光敏
		Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 8. <i>ard/rd</i> , 9. <i>īs</i> , 10. <i>uks</i> , 11. <i>es/is</i> , 12. <i>esⁱ/isⁱ</i> , 13. <i>ok/oc/uc</i> , 14. <i>kan</i> , 15. <i>vaks/uks</i>	Toshifumi Gotō
1993年12月	18巻2号	Conflict and Continuity in an African-Islamic Polity: Adamawa Emirate (Nigeria)	Catherine VerEecke
		二種類の植物隠喩 —リオ族における二重出自と非対称縁組	杉島 敬志
		東日本における樹皮利用の文化 —加工技術の体系と伝統	名久井 文明
		族住居空間構成的調査報告	黄 才貴
1994年2月	18巻3号	Ethnic Identity in a Complex Society: The Badaga Case	Paul Hockings
		魚毒漁の社会生態 —ネパールの丘陵地帯におけるマガールの事例から	南 真木人
		オーストラリア連邦と先住民アボリジニ —アボリジニ政策と人々の生活体験に関するノート	松山 利夫
		オリエンタリズム批判と文化人類学	太田 好信
		Los Mixes ante la Civilización Universal: Reseña de las Observaciones y Reflexiones sobre los Cambios de la Sierra Mixe en los 1990s	Etsuko Kuroda
1994年3月	18巻4号	航海術と海の空間認識 —中央カロリン諸島・Satawal 島における事例	秋道 智彌
		篠田資料・鮭アンケートの予備的分析	久保 正敏・大島 新一・日比野光敏・和田 光生
		バングラデシュ農村における一方的贈与と社会関係 —タンガイル県, M村のムスリム集落の事例より	西川 麦子
		From Oral to Written Form: A Tentative Study of the Development of Swahili Poetry	Said A. M. Khamis
1994年8月	19巻1号	ヒリモトウ語の類型: 辞順と後置詞 —KWICの資料に基づく通言語的研究	崎山 理
		ハワイ諸島の国家形成と人口論的基盤	後藤 明
		中国農民社会における儒教の影響の実態 —東北地方の実地調査に基づいて	轟 莉莉
		東アジアにおける儀礼的饗宴 —その構造の比較研究	金 尚寶
1994年10月	19巻2号	植民地期メキシコにおけるインディオ騒動の政治経済学 —1774年トラルマナルコ村(チャルコ地方)の事例	安村 直己
		1917年バリ大地震 —植民地状況における文化形成の政治学	永渕 康之
		ギリアマにおける妖術告発とパパイヤのキラホをめぐると	慶田 勝彦
1995年2月	19巻3号	フィーとウダ・ラースあるいは骨と肉 —ベダムニ族の社会構造と世界観	林 勲男
		現代ネツリック・イヌイト社会における社会関係について —カナダ国北西準州ペリーベイ村の事例を中心に	岸上 伸啓・スチュアート・ヘンリ
		ペルー・クスコ市におけるクルス・ベラクイの変容	加藤 隆浩
		Retribalization and Language Mixing: Aspects of Identity Strategies among the Broome Aborigines, Western Australia	Komei Hosokawa

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
		ニヴフのアザラン獵と送り儀礼	大塚 和義
1995年3月	19巻4号	涼山彝族の口誦詩にみえる漢族のイメージ	小門 典夫
		Values and Chinese Immigrant Entrepreneurship in Singapore	Chan Kwok Bun, Claire Chiang See Nghoh
		Decipherment and Studies of Early Palauan Word-Lists Collected since the Eighteenth Century	Osamu Sakiyama
1995年8月	20巻1号	羌村社会結構分析	徐 平
		Sino-Tibetan Numerals and the Play of Prefixes	James A. Matisoff
		Coping with Enemies: Graded Age System among the Pari of Southeastern Sudan	Eisei Kurimoto
1995年11月	20巻2号	中国辺境諸民族の文化と居住地 —エーバーハルト説の紹介と評価(そのI. 概観)	大林 太良
		中国・口承長篇物語のテキストと語り —語りもの「樂亭大鼓」にもとづいて	井口 淳子
		スプリングラー事故で冠水した衣類等に施した緊急保存処置に関する報告 —阪神・淡路大震災による被災資料の例	園田 直子
1996年2月	20巻3号	中国辺境諸民族の文化と居住地 —エーバーハルト説の紹介と評価(そのII. 南方辺境諸民族)	大林 太良
		明清期の中国広西東南部における中流宗族の動向 —平南県胡以晄一族の族譜分析を中心に	菊池 秀明
		ポー・カレン語諸方言の音韻体系 —西部方言1種と東部方言2種	加藤 昌彦
		ビルマの建国神話について	田村 克己
		冗談関係にあるもののあいだでかわされる冗談 —北部カメルーン・フルベ族の場合	江口 一久
1996年3月	20巻4号	北部ラガの人生儀礼における贈与交換	吉岡 政徳
		「つぎはぎジャケット」と「ふんどし」 —ベンガルのバウルの宗教と宗教儀礼	村瀬 智
		Current Trends of Out-Migration from Kosrae and Pohnpei, the Federated States of Micronesia	Akitoshi Shimizu
		北タイの工場社会における権力と相互行為 —日系文具メーカーの事例から	平井 京之介
1996年10月	21巻1号	ソニンケ社会における家族の連帯と規模 —出稼ぎをめぐる	三島 禎子
		足踏み式回転脱穀機の発明 —特許資料からみた成立前史	近藤 雅樹
		モンゴリアの石人	林 俊雄
		北部タイ, チエンコーンにおけるブラー・ブク(<i>Pangasianodon gigas</i>)の民族魚類学的考察	赤木 攻・秋道 智彌・秋篠宮 文仁・高井 康弘
1997年1月	21巻2号	雲南のクツォン人と北部インドシナの採集狩猟民 —古い伝統か文化的退化か	大林 太良
		物質文化からの民族文化誌的再構成の試み —クリールアイヌを例として	小杉 康
		ボルネオ・ムルット社会の葬礼に見られる贈与交換と社会関係	上杉 富之
1997年3月	21巻3号	中国朝鮮族にみる村の生活 —吉林省星火村の調査報告	韓 景旭
		オールドス・モンゴルの祖先祭祀 —末子トロイ・エジン祭祀と八白宮の関連を中心に	楊 海英

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1997年3月	21巻4号	カナダ・イヌイットの社会・経済変化 —ケベック州のイヌジュアク村の事例を中心に	岸上 伸啓
		韓国社会における旅芸人の受け入れられ方	朴 銓烈
		ポストモダン人類学の代価 —ブリコロールの戦術と生活の場の人類学	小田 亮
1997年8月	22巻1号	記録されなかった出生 —人口人類学におけるシミュレーション研究	木下 太志
		Effects of Nostalgia: The Discourse of Decline in <i>Periya Mēlam</i> Music of South India	Yoshitaka Terada
		記憶装置としての名前 —セントラル・サン(Guiと Gana)における個人名の民族誌	菅原 和孝
		農村の宗教対立を通してみた転換期のルーマニア社会	新免 光比呂
		実践的問題解決過程としての技術 —東部インドネシア・ティドレ地方の土器製作	後藤 明
1997年12月	22巻2号	Aspects of Ethnicity among the Sri Lankan Malays	Bachamiya Abdul Hussainmiya
		The Role of Nationalism in the “New Buddhism” of the Meiji Period	Brian A. Victoria
		合成素材の分析・識別法に関する基礎研究 —アルキド絵具を例として	園田 直子
		カースト競合の「場」としてのカリスマ的演奏家 —T.N.ラージャラッティナム・ピッライと南インド古典音楽文化	寺田 吉孝
		西藏江孜白居寺壁画風格及其画境追求	熊 文彬
		縄文時代後期の関東地方における漁労活動 —先史生業活動復元へのGISの応用	内山 純蔵
1998年2月	22巻3号	移住と生業戦略 —インドネシア、セラム島の農村における生業活動と食物利用	口蔵 幸雄・野中 健一・須田 一弘・須田 和代
		エスニシティの探究 —中国の民族に関する私の研究と見解	費 孝通
		古典ユカテクマヤ語の逆受動に関する一考察	八杉 佳穂
		北タイ農村における「仕事」概念の一考察 —相互行為と社会関係	平井京之介
1998年3月	22巻4号	南農村における神々信仰 —福建省晋江市農村での実地調査に基づいて	聶 莉莉
		Apuntes sobre el Pluralismo Religioso y los Protestantes en la Sierra Mixe y la Ciudad de Oaxaca	Etsuko Kuroda
		18, 19世紀におけるアムール川下流域の住民の交易活動	佐々木 史郎
		エストニアのベツツェリ領土問題 —分断されたセトゥ人をめぐって	庄司 博史
		雲南省剣川県海門口遺跡出土の炭化穀粒をめぐって —それはヒエではなく、アワであった	佐々木 高明・松谷 暁子・李 昆声・阪本 寧男
		縄文土偶と女神信仰 —民族誌的情報の考古学への体系的援用に関する研究(I)	渡辺 仁
1998年10月	23巻1号	The Orthographic Standardization of Burmese: Linguistic and Sociolinguistic Speculations	Yoshio Nishi
		Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 16. <i>chad</i> , 17. <i>chand/chad</i> , 18. <i>chard/chrd</i> , 19. <i>dagh/dhag</i> , 20. <i>dves/dvis</i> , 21. <i>bandh/badh</i> , 22. ¹ <i>man</i> , 23. ² <i>man</i> , 24. <i>mnā</i> , 25. ¹ <i>yav/yu</i> , 26. ² <i>yav/yu</i> , 27. <i>sanⁱ</i> , 28. <i>star/str</i> , 29. <i>starⁱ/str</i>	Toshifumi Gotō
		チカノ壁画から美術館のための「移動用壁画」へ —メキシコ系アメリカ人の抵抗の表現(素描)	黒田 悦子
		芸術／文化をめぐる交渉 —グアテマラのインディヘナ画家たち	古谷 嘉章
		夢語りの位相 —パプアニューギニア、バダムニの霊媒による語り	林 勲男
縄文土偶と女神信仰 —民族誌的情報の考古学への体系的援用に関する研究(II)	渡辺 仁		
		The Development of Voicing Rules in Standard Burmese	Yoshio Nishi

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
1998年12月	23巻2号	ヴァヌアツ・トンゴア社会における称号制度	白川 千尋
		中国西北部黄土高原における廟会をめぐる社会交換と自律的凝集	深尾 葉子
		オリッサ州カタック地区の密教美術	森 雅秀
1999年3月	23巻3号	忘却のかなたのマリノフスキ —1930年代における文化接触研究	清水 昭俊
		学校者と出稼ぎ者 —エンデの遠近両用眼鏡	中川 敏
		Old Burmese: Toward the History of Burmese	Yoshio Nishi
1999年3月	23巻4号	ネパール法界マンダラ図像資料	立川 武蔵
		The Eighth International Conference on Hunting and Gathering Societies (CHAGS 8)	P. J. Matthews, J. Tanaka, S. Koyama
		Ainu and the Salmon	Shigeru Kayano
		Hunter-Gatherer Studies and the Millennium: A Look Forward (And Back)	Richard Lee
		Hunter-Gatherers in First World Nation States: Bringing Anthropology Home	Nicolas Peterson
		Analyzing and Celebrating Survival in a Globalizing World: Hunters, Others and Us	Harvey A. Feit
1999年9月	24巻1号	社会主義国家ルーマニアにおける民族と宗教 —民族表象の操作と民衆	新免 光比呂
		タビテウエア・サウスにおけるマネアバ(集会所)の多様化 —外部論理の遮断・変換・摂取	風間 計博
		福建境内的、客族群及 族的語言文化關係比較之試論	鄧 曉華
		Store Food: A Case Study of the Food Supply in an Aboriginal Community from 1988-1995	Yoshiko Goto
1999年12月	24巻2号	カナダにおける都市在住イヌイットの社会・経済状況 —モントリオール地区の調査報告を中心に	岸上 伸啓
		韓国博物館史における表象の政治人類学 —植民地主義, 民族主義, そして展望としてのグローバリズム	全 京秀
		縄文土偶と女神信仰 —民族誌的情報の考古学への体系的援用に関する研究(Ⅲ)	渡辺 仁
1999年12月	24巻3号	Nominals of Fatamanue, Seram Maluku: A Subgrouping Argument in Central Malayo-Polynesian	Osamu Sakiyama
		『チンギス・ハーンの二頭の駿馬』について —写本と口頭伝承の比較を中心に	楊 海英
		博物館・美術館の来館者研究 —アメリカの事例から	三木 美裕
2000年3月	24巻4号	Memories Displaced by Ritual: Cognitive Processes in the Spirit Cults of Northern Thailand	Shigeharu Tanabe
		ビルトウチの処刑 —ボリビア・アマゾンの一殺人事件とその記憶	齋藤 晃
		最適採食戦略 —食物獲得の行動生態学	口蔵 幸雄
2000年8月	25巻1号	Notes on the Japanese Collection at the Musée de l'Homme, Paris	Isao Kumakura, Jane Cobbi, Josef Kreiner
		宇都宮方言におけるいわゆる自発を表す形式の意味的および形態統語的特徴	加藤 昌彦
		熱帯産ナマコ資源利用の多様化 —フロンティア空間における特殊海産物利用の一事例	赤嶺 淳
		アイヌ系住民の都市における動向 —北海道内二大都市における場合の輻合・拡散現象	河野 本道

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
2000年11月	25巻2号	民族考古学的アプローチにもとづくパイワンの罾猟研究 —動物遺存体の解釈に関する一試論	野林 厚志
		マプーチェ社会における口頭性 —思考と存在の様式としてのコミュニケーションの様式	箭内 匡
		ヒマラヤ地域のチベット・ビルマ系言語研究の動向 —回想と現状	西 義郎
2001年2月	25巻3号	Kra: The Thai Least-Known Sister Language	Weera Ostapirat
		Recent Ethnological Studies from the Highlands of Papua New Guinea	Andrew Strathern and Pamela J. Stewart
		北米北方地域における先住民による諸資源の交易について —毛皮交易とその諸影響を中心に	岸上 伸啓
2001年3月	25巻4号	アメリカ文化人類学教科書の内容分析 —1990年代前半からの変化を中心に	桑山 敬己
		神殿と画像 —中央アンデス地帯形成期のクントウル・ワシ神殿における画像表現の変容プロセス	井口 欣也
		オーストラリアにおけるセンサスと先住民集計に関するノート	松山 利夫
2001年8月	26巻1号	オーストロネシア語族と日本語の系統関係	崎山 理
		中東イスラム世界における「聖者」発生の社会的・認識的メカニズム —エジプト・南シナイ地域の事例研究	西尾 哲夫
		The Sixteen Bodhisattvas in the Dharmadhatu Mandala	Musashi Tachikawa
2001年10月	26巻2号	Strange Customs: Incipient Social Differentiation in Kamchatka through the Eyes of the First Russian Explorers	Victor A. Shnirelman
		Notes on the Japanese Collection of Count Bourbon Bardi at the Museo d'Arte Orientale di Venezia	Isao Kumakura, Josef Kreiner
		近現代のアムール川流域と樺太における民族分類の変遷	佐々木 史郎
2002年3月	26巻3号	マダガスカル南西部ヴェズにおける漁撈活動と漁家経済	飯田 卓
		嘉戒語の基本構造	長野 泰彦
		三匹獅子舞の分布	笹原 亮二
2002年3月	26巻3号	北タイ女性工場労働者とタン・サマイ言説 —「近代性」への民族史的アプローチ	平井 京之介
		映画フィルムの保存にかんする研究の動向	園田 直子
		American Indian Control of Education: The Blackfeet Response	Will Karkavelas
2002年3月	26巻4号	Muslimovo Sundrome: To be Alive on the Dead River	Galina A. Komarova
		「ムオン・ムオイの黒タイ慣習法」について	樫永 真佐夫
		红河上游花腰傣的文化与当代变迁	郑 晓云
2002年3月	26巻4号	十九世紀モンゴル史における「回民反乱」—歴史の書き方と「生き方の歴史」のあいだ	楊 海英
		日本におけるアラビア語研究文献目録	西尾 哲夫・中道 静香
		再帰的人類学における実践の概念 —ブルデューのハビトゥスをめぐり、その彼方へ	田辺 繁治
2002年3月	26巻4号	ビルマ尼僧院学校の所有形態と変遷	川並 宏子
		聖者廟空間におけるアイデンティティ・ポリティクスの生成とその回避 —「インド・ラージャスターン州メーワール地方のスーパー聖者廟の事例	三尾 稔
		ピジン文化としてのカヴァ・バーヴァヌアツにおける都市文化を巡って	吉岡 政徳
		Meat and Marriage: An Ethnography of Aboriginal Taiwan	Arne Røkkum

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
2002年8月	27巻1号	人類愛善運動の史的意義 — 大本強のエスベラント・芸術・農業への取り組み	広瀬 浩二郎
		「伝統的な生体学的知識」という名の神話を超えて — 交差点としての民族史の提言	大村 敬一
2002年8月	27巻1号	ソニンケにとってのディアスポラ — アジアへの移動と経済活動の実態	三島 禎子
		The <i>Umiliit-Kariyit</i> Whaling Complex and Prehistoric Thule Eskimo Social Relations in the Eastern Canadian Arctic	James M. Savelle
		伝統漁法の比較生態	田和 正孝
2002年11月	27巻2号	カナダ極北地域における海洋資源の汚染問題 — 「近代性」への民族史的アプローチ	岸上 伸啓
		魏晋南北朝における喫茶の文化	関 剣平
		技術における選択と意志決定 — ソロモン諸島における貝ビーズ工芸の事例から	後藤 明
		The Application of Bowhead Whale Bone Architectural Indices to Prehistoric Whael Bone Dwelling Sites in Alaska and the Canadian Arctic	James M. Savelle and Allen P. McCartney
2003年3月	27巻3号	アラブ・ペルシア文学におけるアレクサンドロス大王の神聖化	山中 由里子
		英雄叙事詩『ジャンガル』における“12勇者” — モンゴル英雄叙事詩の数詞解釈	藤井 麻湖
2003年3月	27巻4号	儀礼の受難 — 楞伽島綺談	杉本 良男
		中国少数民族語対策の新局面 — 特に漢語普及とのかかわりにおいて	庄司 博史
		狩猟採集民社会における食物分配 — 諸研究の紹介と批判的検討	岸上 伸啓
2003年7月	28巻1号	ラームナガルの宗教劇ラーム・リーラーに関する研究資料	長崎 広子
		銅鍛冶カーストの近代と銅製水入れの系統分類 — 西ネパールの事例から	南 真木人
		儀礼が維持する集団の歴史的記憶 — 道光年間における祭祀社ダルハットの訴訟事件が反映する歴史観	楊 海英
2003年10月	28巻2号	An Encounter with Medicine Men in North Cameroon: Dreams and Experiences of a Psychotherapist	Ryo Inoue
		民族学博物館の現在 — 民族学博物館は21世紀に存在しうるか	竹沢 尚一郎
		戦争と宣教 — 南米イエズス会ミッションの補食的拡張	齋藤 晃
2004年2月	28巻3号	小泉文夫の日本伝統音楽研究 — 民族音楽学研究の出発点として	福岡 正太
		広場は政治に代われるか — イタリア戶外生活再考	宇田川 妙子
		海南回族的歴史来源与社会変遷 — 对海南省三亚市羊欄鎮兩回族村歴史学与人類学的考察	馬 建釗
2004年3月	28巻4号	近代北インドにおける音楽財産の伝承形態と社会関係の変化 — サロード・ガラーナーを事例として	田森 雅一
		仙仁土家語瀕危現象研究	戴庆厦・田静
		ガミラロイー地方町モリーにおけるアボリジナルの歴史と現在	松山 利夫
2004年3月	28巻4号	ペルー北高地の形成期における食性の復元 — 炭素・窒素同位分析による考察	関 雄二・米田 穰
		大型民族学資料の虫害防除法 — 加湿空気を用いたオン・サイト殺虫法	森田 恒之・園田 直子・日高 真吾
		仙島語瀕危趨勢个案研究	戴 庆厦・王 朝暉

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
		Umesao Tadao's Civilisation-theory, Viewed in the Historical Context of Japanese Anthropological Science	Josef Kreiner
		Gathering and Releasing Animals: Reindeer Herd Control Activities of the Indigenous Peoples of the Verkhoyansky Region, Siberia	Hiroki Takakura
2004年9月	29巻1号	梵鐘鑄型の造型方法	吉田 晶子
		Проблемы у коренных малочисленных народов Севера в XX веке	Таксами, Чунер Михайлович
		Looking for Love and Miracles; Multivocal Composition and Conflicts among Followers in a Sufi Mausoleum Festival of Rajasthan, India	Minoru Mio
2004年12月	29巻2号	ドリアン・タワール村の生活世界—マレーシア、オラン・アスリ社会における階層秩序と世帯状況	信田 敏宏
		カナダの北西海岸先住民にとってのサケの社会・経済的な意義—現代のクワクワクワウ漁師の経済活動に関する事例から	立川 陽仁
		ギャロン語の否定辞	長野 泰彦
2005年2月	29巻3号	宗教と多元化する価値 —インドネシアにおけるヒンドゥーをめぐる境界線を定める闘争	永渕 康之
		インド染織業の需要変化に対する生産者の戦略 —手工芸振興政策と手工芸概念との関わり	金谷 美和
		「滅び行く人種」言説に抗する「同化」—1920~30年代のアイヌ言論人の抵抗	関口 由彦
		毛沢東の記憶と神格化—中国陝西省北部の「三老廟」の事例研究にもとづいて	韓 敏
2005年3月	29巻4号	インド・ムスリムの生業における親族と姻族ネットワークの重要性—グジャラートの染色コミュニティの事例	金谷 美和
		Notes on the Provenance and Providence of Wildtype Taros (<i>Colocasia esculenta</i>) in Myanmar	Peter J. Matthews and Kyaw W. Naing
		1920年代ロシア極東の博物館研究活動発展史	N. N. ルーバン
		グロジェコフ博物館史—ハバロフスク市ロシア帝室地理学協会沿アムール支部博物館の歴史1894-1917年	L. V. コールネヴァ
		人種／国民／帝国主義—19世紀フランスにおける人種主義人類学の展開とその批判	竹沢 尚一郎
2005年9月	30巻1号	ミクロな視点から見る在日華僑のアイデンティティの形成過程—二世、三世および「リターン者」のライフ・ヒストリーを通じて	張 玉玲
		Politics of Ethnogenesis in the USSR and after	Victor A. Shnirelman
		1960~1980年代のソビエト民族誌学の学際的潮流としての民族社会学	ガリーナ・A・コマロヴァ
		大都市と移民—ベルリンにおける「外国人」カテゴリーと「多文化」意識	森 明子
2005年12月	30巻2号	ソ連期ウズベキスタンにおける陶業の変遷と近代化の点描	菊田 悠
		中国麗江納西族における東巴文字復興運動—1990年代以降を中心に	高 茜
		ウォルゲット・ノート—過疎化する地方町とアボリジナル	松山 利夫
2006年2月	30巻3号	西藏調査報告	青木 文教 長野 泰彦・高本康子
		Land and Population Controls in Rural China	Laurel Bossen
		アイデンティティ概念の再構築の試み—イタリア人アイデンティティという事例とともに	宇田川 妙子
2006年3月	30巻4号	「ラクダの火をまつる儀礼」から民族誌の政治性をよむ—ネイティブ人類学徒の曖昧な喪失の視点から	楊 海英
		珠江三角洲城市外来少数民族的流动与适应	马建钊、陈晓毅

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
2006年9月	31巻1号	独立ガーナの希望と現実:ココアとンクルマ政権、1951-1966年	高根 務
		特集:世界の人類学1 序論	竹沢 尚一郎
		アメリカの人類学から学ぶもの	桑山 敬己
		フランスの人類学と人類学教育	竹沢 尚一郎
		イギリス「社会」人類学の内実をめぐって—2002-3年のケンブリッジを例に	名和 克郎
		中国の人類学の独自性と可能性	秦 兆雄
2007年2月	31巻2号	ジバーリ・アラビア語(エジプト・シナイ半島南部)の構造と系統	西尾 哲夫
		昭和30年代の海外学術エクスペディション—「日本の人類学」の戦後とマスメディア	飯田 卓
		補説: 学術活動と映像マスメディア	梅棹 忠夫、栗田 靖之(聞き手・構成 飯田 卓)
2007年3月	31巻3号	天竺聖トマス靈験記	杉本 良男
		Minorities “in between” China and Japan: Complexity of legal status and identity	陳 天璽
2007年3月	31巻4号	Creation of Indian Republics in Spanish South America	齋藤 晃
		Islamization Policy toward the Orang Asli in Malaysia	信田 敏宏
		ボルネオ島サマ人による漁撈の「近代化」と「伝統」—陸サマと海サマによる漁撈の比較をととして—	小野 林太郎
2007年12月	32巻1号	パリ/マルセイユ, 2005.10-11—文化の名による統合と排除	竹沢 尚一郎
		先住民の権利—事前の自由なインフォームド・コンセント原則との関連で	苑原 俊明
2008年1月	32巻2号	インカ国家における地方支配—ペルー北部高地カハマルカ地方の事例	渡部 森哉
		「オーストラリア原始美術」展とその民族学的背景—日本最初のアボリジナル美術展をめぐる資料の紹介	松山 利夫
2008年2月	32巻 3号	放牧キャンプの構成と離合集散—東ネパールにおける羊飼いの流動的な関係	渡辺 和之
		先住民, 植民地支配, 脱植民地化—国際連合先住民権利宣言と国際法—	清水 昭俊
2008年3月	32巻 4号	婚姻に見る民族集団間関係とアダット(慣習)—インドネシア・ランブン州プビアン人社会の事例から—	金子 正徳
		文化人類学的生業論—極北地域の先住民による狩猟漁撈採集活動を中心に—	岸上 伸啓
		「伝統を知らない」老人たち—ヴァヌアツ・アネイチュム島における老人の現在と社会構築主義批判—	福井 栄二郎
2008年12月	33巻 1号	清朝時代伊克昭盟盟長バダラホの奏凱図—『圖開勝跡』が描くオールドス七旗—	楊 海英
		イタリアの食をめぐるいくつかの考察—イタリアの食の人類学序説として	宇田川 妙子
		ギャロン地域のカムチベット語・丹巴県蒲角頂[Ronbrag]方言の音声分析と語彙	鈴木 博之
2009年1月	33巻 2号	想起される植民地経験—「島民」と「皇民」をめぐるパラオ人の語り	三田 牧
		漢字仮名交じり表記考	八杉 佳穂
		マダガスカルにおけるオーストロネシア系言語由来の植物名称の意味変化	崎山 理
		民族誌における対話—文化革命期のソヴィエト民族学の変遷にみる通約不能なもの	後藤 正憲

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
		特集:世界の人類学2 序論	竹沢 尚一郎
		北米の「人類学」とカルチュラル・スタディーズ—四分野制をめぐる文化戦争	米山 リサ
		サバルタン・スタディーズと南アジア人類学	田辺 明生
2009年2月	33巻 3号	「マルチカルチュラル」オーストラリアにおける人類学	大野 あきこ
		ドイツの民俗学と文化人類学	森 明子
		Moving Beyond the Orthodoxies in 'Sustainable Agriculture'	Daniel Niles
		社会変動のなかの宗族組織—中華民国期の広東省珠江デルタの事例から—	川口 幸大
		文化の安全保障の視点から見た先住民生存捕鯨に関する予備的考察—アメリカ合衆国アラスカ北西地域の事例から—	岸上 伸啓
		新たな移民母村の誕生—バブアニューギニア華人のトランスナショナルな社会空間	市川 哲
2009年3月	33巻 4号	モンゴル国フンプレー遺跡群の調査とその意義—元代「孔古烈倉」の基礎的研究	白石 典之・相場 秀・加藤 雄三・A.エンフトル
		Morphophonological alternation of suffixes, clitics and stems in Amdo Tibetan	Shiho Ebihara
		聖伝の素描—ポン教の聖者シェンラブ・ミボの降臨から子息の誕生まで	津曲 真一
		エジプト・アラビア語のWh疑問文の語順と語順変化—コプト語影響説の再検討	西尾 哲夫
		蛇行する〈原住民工芸〉—台湾タイヤル族の織布文化、脱植民地化とモダニティ	山路 勝彦
		フェミニズムと宗教の陥穽—上ピルマ村落における女性の宗教的実践の事例から	飯國 有佳子
2009年10月	34巻 1号	沖縄西表島の罫猟師の狩猟実践と知識—11年間の罫場図をもとに	蛭原 一平
		納西文化圏のチベット語・永勝県大安[Daan]方言の方言所属	鈴木 博之
		Notes on the economic plants of Batanes: <i>Citrus</i> species and <i>Phoenix loureiroi</i> var. <i>loureiroi</i>	Domingo A. Madulid and Esperanza Maribel G. Ago
		戦後の日本民族文化起源論—その回顧と展望	佐々木 高明
2009年12月	34巻 2号	血と職と—韓国・朝鮮の士族アイデンティティとその近代の変容について	太田 心平
		聖伝の素描—ポン教シェンラブ・ミボの布教から入滅まで	津曲 真一
		1940年代中国内戦時期のある中国人キリスト教徒、乙氏の日記—国立民族学博物館の資料紹介と分析	韓 敏
		リスクの相貌—インド洋津波後の観光地プーケットにおける在住日本人と風評災害	市野澤 潤平
2010年2月	34巻 3号	Toward a Eurasian Bestiary: (I) OTTER in Tibeto-Burman and Mon-Khmer (II) JACKAL in Sino-Tibetan and Indo-European	James A. Matisoff
		Cumulative Bowhead Whale (<i>Balaena mysticetus</i>) Harvest Estimates by Prehistoric Thule Inuit in the Canadian Arctic 1200-1500 A.D.: Implications for Bowhead Whale Population Modeling and Thule Demography	James M. Savelle
		文化資源としての博物館資料—日本統治時代に収集された台湾原住民族の資料が有する現地社会での意義	野林 厚志
2010年3月	34巻 4号	アフリカの政治的民主化におけるあいまいなアイデンティティの可能性—北ケニア牧畜社会における選挙運動の事例から	内藤 直樹
		高等教育産業化以降の中国における農家収入と大学生の教育費負担問題	アイソイ
		チベット日誌	青木 文教・長野 泰彦・高本 康子

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
		梅棹忠夫 略年譜・主要業績	
		国立民族学博物館の創設者 梅棹忠夫先生	須藤 健一
2010年11月	35巻1号	モンゴルにおける農業開発史—開発と保全の均衡を求めて—	小長谷 有紀
		1960～1980年代におけるモンゴル人民軍の生活実態—20世紀のモンゴル社会を解説する1つの手がかり—	娜仁 格日勒
		カムチベット語香格里拉浪都[Lamdo]方言の方言所属	鈴木 博之
2010年12月	35巻2号	「市民社会」の到来—マレーシア先住民運動への人類学的アプローチ—	信田 敏宏
		キューバ革命の「近代」—「恥ずかしがらない」唯物論からの眺め—	大杉 高司
		Being Cuban is about (im)mobile: Spatial imaginaries of Cubanness	田中 真樹
2011年2月	35巻3号	「捕鯨に関する文化人類学的研究における最近の動向について	岸上 伸啓
		博物館標本資料の情報と知識の協働管理に向けて—米国南西部先住民ズニによる国立民族学博物館所蔵標本資料へのアプローチ—	伊藤 敦規
		Demarcation and Recollection of Collectivity in a Chuvash Village, Russia	後藤 正憲
2011年3月	35巻4号	婚姻実践を通じた土地所有権・用益権の獲得—フィジー諸島共和国ヴィティレブ島西部のソロモン諸島民集落の事例を中心に—	丹羽 典生
		近代北インド古典音楽における社会音楽的アイデンティティの構築—英領インド帝国期の“カースト統計”と“ナウチ関連問題”を中心に—	田森 雅一
		Phonetic Analysis of dGudzong Tibetan The Vernacular of Khams Tibetan spoken in the rGyalrong Area	Hiroyuki Suzuki
		Areal and Universal Issues in Plant and Animal Nomenclature	James A. Matisoff
		Contesting the Streets: Shelter-Resistant Homeless Men and Encampments in Japan, America and Britain	Tom Gill
		Repatriation and the Second Life of Heritage: Return of the Masks in Kodiak, Alaska	James Clifford
2011年10月	36巻1号	珍奇人形から原始美術へ—非西洋圏の造形に映った戦後日本の自己像	川口 幸也
		「住宅」の思想—フィンランド西南部の地域福祉にみる市民社会の領域とエイジング	高橋 絵里香
		Crosscutting Narratives: Legacies of Religious Repression and Resistance in Soviet Kamchatka	David Koester
		Releasing the Soul: Zooarchaeological Evidence for a Whale Cult among the Prehistoric Thule Inuit in Canada	James M. Savelle and Alison Vadnais
		国立民族学博物館におけるアイヌ研究と博物館活動の過去・現在・未来	大塚 和義
2012年1月	36巻2号	米国アラスカ州バロー村のイヌピアットによるホッキョククジラ肉の分配と流通について	岸上 伸啓
		想起される「ガンディー」—バルタ・チャタジーの市民社会批判とマハトマ・ガンディーにおける非暴力思想の形成	外川 昌彦
		マイクロクレジット(小規模融資)利用者のケイパビリティ拡大に向けた検討—バングラデシュにおける事例の考察をもとに	石坂 貴美
2012年2月	36巻3号	四海同胞から民族主義へ—アナガーリカ・ダルマパーラの流転の生涯	杉本 良男
		日本語の混合的特徴—オーストロネシア祖語から古代日本語へ音法則と意味変化	崎山 理
		現代日本の食屍習俗について	近藤 雅樹

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
		On The Development of Applicative Construction in Austro-onesian Languages	Ritsuko Kikusawa
		エヴェンキとオロチヨンの伝統的狩猟	卡麗 娜
2012年3月	36巻4号	バングラデシュのベンガルデルタにおけるブタの遊牧	池谷 和信
		運動する博物館—水俣病歴史考証館の対抗的実践	平井 京之介
		A Bibliography of the Arabian Nights in the 18th Century	Tetsuo Nishio
2012年11月	37巻1号	インド・グジャラート州アーメダバード市における女神儀礼用染色布の製作技術の現状	上羽 陽子
		カムチベット語香格里拉県巴拉[mBalhag]方言の方言特徴	鈴木 博之
		梅棹忠夫のモンゴル調査におけるスケッチ資料	小長谷 有紀
2013年1月	37巻2号	津波の破壊に対抗する被災コミュニティ—大槌町の避難所に見る地域原理と他者との関係性—	竹沢 尚一郎
		空間概念としての客家—「客家の故郷」建設活動をめぐって—	河合 洋尚
		ベトナム中部高原山岳少数民族の伝統的集会施設「ニャーロン」の現在—コントウム省、ジャライ省の事例から—	柳沢 英輔
		タイのコミュニティ博物館についての一考察：博物館か、寺院か？	平井 京之介
2013年3月	37巻3号	親族システムの理念と実践—マレーシア、オラン・アスリ社会の母系制—	信田 敏宏
		Putting “Tehrangeles” on the Map: A Consideration of Space and Place for Migrants	Atsuko Tsubakihara
		インド音楽の近代化とマスメディア—ラジオ放送が北インド古典音楽と音楽家の生活世界に与えたインパクト—	田森 雅一
		米国アラスカ州バロー村におけるイヌピアットの捕鯨祭ナルカタクについて—祝宴における共食と鯨肉の分配を中心に—	岸上 伸啓
2013年3月	37巻4号	チンギス・ハーン崇拝の近代的起源—日本とモンゴルの応答関係から—	小長谷 有紀
		「ジャスミン革命」の淵源と二つの近代—タミーミー著『ラーシド・ガンヌーシー』再読による〈イスラームと民主主義〉再考—	森 まり子
		民族誌資料の制作者名遡及調査—『ホビ製』木彫人形資料を事例として—	伊藤 敦規
2013年12月	38巻1号	藏語和汉语对嘉戎语的影响变迁情况研究	严 木初
		東南アジアにおける客家研究の新傾向—シンガポール、マレーシアを対象として—	河合 洋尚
		Expedition to the Tuvans in China, Russia, and Mongolia in 2012: A Preliminary Report	Marina V. Mongush
		南島研究回想	伊藤 幹治
		悪霊ミカ祓いの祈祷書Mi kha' i bzlog 'gyur 校注	村上 大輔
2014年2月	38巻2号	アンデス文明形成期の金属製品の製作に関する一考察—クントゥル・ワシ遺跡およびパコパンバ遺跡出土の金属製品の蛍光X線分析の結果から—	日高真吾・関 雄二・橋本沙知・椎野 博
		ムスリムの国へ行ったムスリム—トルコ・イスタンブルに住む中国新疆ウイグル族の事例から—	熊谷 瑞恵
		琉球弧・八重山諸島における通耕実践と生態資源利用—19世紀末期から20世紀初頭における「高い島」と「低い島」との往来をめぐる事例—	藤井 紘司
2014年3月	38巻3号	日本における民法施行前の「講」と現代非営利組織(NPO)との特性の共通性	出口 正之
		支援のフィールドにおける人類学—カレンニー難民の移動と定住—	久保 忠行
		貝殻交易ネットワークの地域史—ビスマルク諸島とソロモン諸島地域間におけるムシロガイ交易の歴史の変遷と現状—	深田 淳太郎
		ベトナムにおけるゴング製作—フッキウ村を事例として—	柳沢 英輔

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
2014年3月	38巻4号	Introduction: Exhibiting Cultures from Comparative Perspectives	Akiko Mori
		Exhibiting European Cultures in the National Museum of Ethnology, Osaka	Akiko Mori
		Exhibiting European Cultures in Berlin, Germany	Elisabeth Tietmeyer
		Museum Experiments in Living Ethnography: 'At Home in Japan' in London?	Inge Daniels
		The Exhibition of Japanese Cultures in the National Museum of Ethnology	Shingo Hidaka
2014年7月	39巻1号	移民の軍務と市民権 —1997 年以前グルカ兵の英国定住権獲得をめぐる電子版新聞紙上の論争と対立—	上杉 妙子
		都市を生きる出家者たち—ミャンマー・ヤンゴンを事例として—	藏本 龍介
		カムチベット語香格里拉県小中甸郷吹亞頂[Choswateng] 方言の音声分析と語彙——rGyalthang 下位方言群における方言差異に関する考察を添えて——	鈴木 博之
2014年11月	39巻2号	Nuevos avances en el estudio de las reducciones toledanas	Akira Saito, Claudia Rosas Lauro, Jeremy Ravi Mumford, Steven A. Wernke, Marina Zuloaga Rada y Karen Spalding
		ミクロネシアにおける海面保有と資源保護の様式	須藤 健一
		南ラオスの少数民族の移住村における精霊祭祀と仏教—言語ゲームの視点から—	中田 友子
2015年1月	39巻3号	タンザニア・マテンゴ高地における植林の受容と継承—外来技術の在来化をめぐる一視点—	黒崎 龍悟
		北東アジア先住民族の歴史・文化表象 —中国黒竜江省敖其村の赫哲族ゲイケル・ハラの人々の事例から—	佐々木 史郎
		On the Demise of the Proto -Tibeto-Burman Mid Vowels	James A. Matisoff
2015年3月	39巻4号	国立民族学博物館における研究公演の再定義—「ホビの踊りと音楽」の記録とフォーラムとしてのミュージアムの 視点からの考察	伊藤 敦規
		レバノン南部の聖者アル・ホドル崇敬にみられる「聖者の占有」とその背景—歴史的パレスチナとの比較から—	菅瀬 晶子
		先史アンデスにおけるペルー北部チョターノ川流域社会の形成と変遷	山本 睦
		Low-income and Homeless Inuit in Montreal, Canada:Report of a 2012 Research	Nobuhiro Kishigami

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
2015年6月	40巻1号	大規模災害時における文化財レスキュー事業に関する一考察—東日本大震災の活動から振り返る	日高 真吾
		Introduction Japan in Global Circulation: Transnational Migration and Multicultural Politics	Blai Guarné and Shinji Yamashita
		Transnational Families in a Global Circulation Context: The Case of Cross-border Marriages between Japanese Women and Pakistani Migrants	Masako Kudo
		Micro-politics of Identity in a Multicultural Japan: The Use of Western Colonial Heritages among Japanese Filipino Children (JFC)	Taichi Uchio
		Transnational Labor Migration in Japan: The Case of Korean Nightclub Hostesses in Osaka	Haeng-ja Chung
		A Ruptured Circuit: The Economic Crisis and the Breakdown of the <i>Dekasseguy</i> Migration System	Koji Sasaki
		Commentary Japan in Global Circulation: Transnational Migration and Multicultural Politics	Glenda S. Roberts
メディアをめぐる公共圏の検討—ベナンの視聴者参加番組の事例をとおして	田中 正隆		
2015年11月	40巻2号	特集 マダム・ブラヴァツキーのチベット 序論	杉本 良男
		入口としてのカルムイク草原—19世紀前半のカルムイク人とその信仰に関する知識と記憶	井上 岳彦
		ブッダの世界の小さな花—エレナ・ガンの『ウトバーラ』が描くカルムイク仏教の世界	高橋 沙奈美
		不可視の「チベット」、可視の「チベット」—欧米と日本におけるチベット・イメージ—	高本 康子
		闇戦争と隠秘主義—マダム・ブラヴァツキーと不可視の聖地チベット—	杉本 良男
		かたちを変えていく歌詞—チベット難民社会におけるチベタン・ポップの作詞実践を事例に—	山本 達也
		Reinterpretation of the Ramayana in Indonesia: A Consideration of the Comic Works of R. A. Kosasih	Madoka Fukuoka
不可視の「チベット」、可視の「チベット」—欧米と日本におけるチベット・イメージ—	高本 康子		
闇戦争と隠秘主義—マダム・ブラヴァツキーと不可視の聖地チベット	杉本 良男		
かたちを変えていく歌詞—チベット難民社会におけるチベタン・ポップの作詞実践を事例に	山本 達也		
Reinterpretation of the Ramayana in Indonesia: A Consideration of the Comic Works of R. A. Kosasih	Madoka Fukuoka		
2016年1月	40巻3号	オーストラリア・アジア系専門職移民の文化・社会参加戦略—ある作家の自叙伝と文化・社会活動に注目して	石井 由香
		壮族の「民族英雄」儂智高に関する研究の動向と問題点	塚田 誠之
		赤子と母のいのちを守るための江戸時代の民間療法	沢山 美果子
2016年3月	40巻4号	The Role of Meals in the Well-being of American and Japanese Elderly: Meal Programs at Senior Centers and Senior Day-service Centers	Mariko Fujita-Sano
		博物館におけるLED照明の現状—2015年夏 国立民族学博物館展示場での実験データから	園田 直子・日高 真吾・末森 薫・奥村 泰之・河村 友佳子・橋本 沙知・和高 智美
		「アーティスト」として生きていく—ナイジェリアの都市イレ・イフェにおける「アート」のあり方	緒方 しらべ
2016年8月	41巻1号	イスラエル・ガリラヤ地方のアラブ人市民にみられる豚肉食の現在—キリスト教徒とムスリム, ユダヤ教徒の相互的影響	菅瀬 晶子
		レプリカの天女様のゆくえ —バリ島天女の舞トベン・レゴンにおける仮面の複製—	吉田 ゆか子
		エチオピアの音楽職能集団アズマリの職能機能についての考察	川瀬 慈
		高齢認知症者のエイジング・イン・プレイスに向けた包摂的活動 —アメリカ合衆国における「ブリッジ」のメモリーケアを中心に—	鈴木 七美

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
2017年3月	41巻2号	Nominal Echo-Formations in Northern Pakistan	Noboru Yoshioka
		敦煌莫高窟の西魏代における石窟空間構成 ―一千仏図の描写設計を中心として―	末森 薫
2017年3月	41巻3号	Temporary Exhibition of Khachkars: The Story of Armenian Cross Stones	Gevorg Orbelyan
		モノを通じた信仰 ―インド・メーワール地方の神霊信仰における身体感応的な宗教実践とその変容―	三尾 稔
2017年3月	41巻4号	資本主義批判としてのアート ―オアハカ州のASAROを事例として―	山越 英嗣
		Reconsidering of the Meaning of“Children Are Reared by Society as a Whole”: Focusing on the Practices of Two Villages in Twentieth Century Japan	Yoko Taniguchi
2017年3月	41巻4号	Materializing Memories of Disasters: Individual Experiences in Conflict Concerning Disaster Remains in the Affected Regions of the Great East Japan Earthquake and Tsunami	Isao Hayashi
		本館展示の新構築とその心 ―40年ぶりの改変をおえて―	須藤 健一
2017年9月	42巻1号	情報考古学的手法を用いた文化資源情報のデジタル化とその活用	寺村 裕史
		物質文化を「翻訳」する―国立民族学博物館における展示解説の多言語化実践現場から	山中 由里子
2017年12月	42巻2号	オーストラリアの反捕鯨思想と人々の考える「理想的なオーストラリア」	前川 真裕子
		なぜ宇治川の鵜飼においてウミウは産卵したのか―ウミウの捕獲作業および飼育方法をめぐる地域間比較研究	卯田 宗平
2018年2月	42巻3号	ロマンティストであり、リベラリストである―「柳田国男」の自己創造	竹沢 尚一郎
		北インドにおける婚資婚再考―ラージャスターン州西部に暮らすジョーギーの姻戚関係を事例に―	中野 歩美
2018年6月	42巻4号	最近の狩猟採集民研究の動向―第11 回国際狩猟採集社会会議 (CHAGS11)に出席して―	池谷 和信・岸上 伸啓・佐々木 史郎・戸田 美佳子
		エスニシティを可視化する手段としての衣服―台湾原住民族サキザヤ族の民族認定を事例として―	野林 厚志
2018年7月	43巻1号	Un document inédit à propos des ouvrages de François Péris de La Croix (1653-1713)	Tetsuo Nishio et Naoko Okamoto
		Work Ethic in a Japanese Museum Environment: A Case Study of the National Museum of Ethnology	Alex de Voogt, Shimpei C. Ota, and Jonas W. B. Lang
2018年7月	43巻1号	「人種」と「人種主義」をめぐる博物館展示の動向―フランスの人類博物館とアメリカ人類学会の展示会の事例―	亀井 伸孝
		「土地」を所有する現在―パナマ東部先住民エンベラから見る「境界画定」―	近藤 宏
2018年10月	43巻2号	みんなく開館40 周年にあたって	吉田 憲司
		Museums and the Anthropological Imagination:	Anthony
2018年10月	43巻2号	Positioning the National Museum of Ethnology, Osaka on its Fortieth Anniversary	Alan Shelton
		アナガーリカ・ダルマパーラのブダガヤ復興運動とインド ―宗教的普遍主義からシンハラ仏教ナショナリズムへの奇跡―	外川 昌彦
2018年10月	43巻2号	無縁・有縁・縁を訳すコンテクスト ―パプアニューギニア・トーライ社会を対象に―	小坂 恵敬
		日本における応援組織の発展と現状 ―四年制大学応援団のデータ分析を中心とする試論―	丹羽 典生

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
2019年1月	43巻3号	Introduction: A Nationalism of Absence	Satoshi Nakagawa
		The Distinctive Character of East Timorese Nationalism	Michael Leach
		Nationalism at Scale in Timor-Leste: Between Rai na' in and Rai Timor	Andrew McWilliam
		Establishing the Legitimacy of Portuguese as an Official Language in Timor-Leste	Wakana Okuda
		The Centre of the Land, the Periphery of the Nation: Wars and Migration in Southern Tetun Society, Timor Island	Shintaro Fukutake
		Reiterated Encounter: On a Reconciliation Ceremony at the Urban Settlement in Dili, Timor-Leste	Toru Ueda
		'Mice' of Transborder Trade in Timor Island: Timorese Smugglers and 'Reconciliations'	Yoshinari Morita
		An Animic Regime Subjugated: The Pu Sae Ña Sae Spirit Cult in Chiang Mai	Shigeharu Tanabe
2019年3月	43巻4号	韓国音楽学者李輔亨による湖南右道農楽録音資料の比較考察	神野 知恵
		「魂」(bla)を呼び戻すチベットの儀軌「ラグツェグ」(bla 'gugs tshe' gugs)ーニンマ派伝承の祈祷書の訳注と儀軌の記述ー	村上 大輔
		カワウの人工繁殖をめぐる漁師の技法と生殖介入の動機ー中国雲南省洱海における鵜飼い漁師たちの繁殖技術の事例からー	卯田 宗平
		フェアトレードを支援するー文化人類学による研究と批判ー	鈴木 紀
2019年7月	44巻1号	グローバル支援の時代におけるボランティアー青年海外協力隊の「コミュニティ開発」ボランティアをめぐるー	白川 千尋
		フィジー都市部に居住するバナバ人のエスニシティと自己認識の複相性	風間 計博
		減圧症リスクとダイブ・コンピューター観光ダイビングにおける身体感覚／能力の増強とリスク認知ー	市野澤 潤平
2019年10月	44巻2号	国立民族学博物館における大阪府北部を震源とする地震による収蔵庫の被害と対応	園田 直子
		大阪府北部を震源とする地震で被災した国立民族学博物館の復旧活動	日高 真吾
		アグリビジネスから食の民主主義へー岐路にある日本とフランスの食と農業ー	竹沢 尚一郎
		参加と競争のはざまにおけるテクノロジーをめぐるースペイン・カタルーニャ州の人間の塔を事例にー	岩瀬 裕子
2020年1月	44巻3号	The Decay and Reconstruction of Nominal Classes in Srinagar Burushaski	Noboru Yoshioka
		工場生産の現場にみる身体ー機械の関係性	日比野 愛子
		特集「地域の食の形成：日本を中心とした産業化の脈絡のなかで」:序	野林 厚志
		変容する伝承食の真正性ー福井県嶺南地方沿岸部のサバのヘシコナレスシを事例としてー	濱田 信吾
		戦後日本における鯨肉の変遷ー工業化時代の代替肉からポスト工業化時代の伝統食へー	若松 文貴
		アメリカ合衆国、日本のローカルフードの成長と緊張	イーサン・D・スクールマン／アレクサンダー・ホー
		現代日本におけるうま味の認識とその構築	大澤 由実
		台湾社会における甘味を嗜好した飲食文化の形成ー砂糖の歴史生態から考えるー	野林 厚志
2020年1月	44巻3号	普遍主義の響宴ーアナガーリカ・ダルマパーラと神智協会ー	杉本 良男
		Nomadic Storytellers: Scottish Traveller Self-Representation in Stanley Robertson's <i>Exodus to Alford</i>	Ryo Yamasaki
		日本手話、台湾手話、韓国手話の二桁から四桁の数の表現における変化ー「10」「100」「1000」に着目してー	相良 啓子

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
2020年3月	44巻4号	海域世界の鼓動に耳を澄ます—19世紀インド洋西海域世界の季節性—	鈴木 英明
		1930年代のアメリカにおける私的探検の考察—朝枝利男が参加した探検隊の旅程と経路の分析から—	丹羽 典生
		ソニンケ民族の文化運動と地域ラジオ局—「文化週間」をめぐる民族誌的考察—	三島 禎子
2020年8月	45巻1号	旧ユーゴスラヴィア時代における鵜飼漁の技術とその存立条件—北マケドニア共和国ドイラン湖におけるマンドゥラ(Mandra)漁の事例から—	卯田 宗平
		フードスケープ—「食の景観」をめぐる動向研究—	河合 洋尚
		International Symposium“Future of the Museum: An Anthropological Perspective”	James Clifford, Atsunori Ito, Reiko Saito, Kenji Yoshida, Isao Hayashi, Taku Iida
		ベトナムにおける黒タイ文字の創成について	樫永 真佐夫
		特集「協働／プロセスの人類学：同時代のアートをめぐる省察から」：序	登 久希子、兼松 芽永
2020年10月	45巻2号	アート作品の譲渡不可能性—参加型アートとその制作プロセス—	登 久希子
		芸術家と非芸術家の関係から生じる「アート」—《Self Select: Nairobi in Tokyo》の実践から—	西尾 美也
		窓花をくつつす窓花展—人類学的表現実践としての映像と展示制作—	丹羽 朋子
		アートによる「生活空間の脱植民地化」をめざして—オアハカの民衆聖像崇拜とアクチュアリティの共鳴—	山越 英嗣
		アートプロジェクトの図地転換—田んぼの「棚田化／アート化」から考える—	兼松 芽永
2021年1月	45巻3号	Nominal Echo Formations in Kati: In the Context of Languages of Northern Pakistan	Noboru Yoshioka
		個人の移住歴からみる定住化した狩猟採集民の居住形態—カメルーン東南部のバカを事例に—	彭 宇潔
		過程の中の竹製バンパイプと間に合わせのレコーディング・スタジオ—ロモン諸島アレレの在来楽器をめぐる音楽的媒介—	佐本 英規
		モンゴルで撮影された写真の歴史(1880-1930)—学術調査隊による写真コレクションを中心に—	小長谷 有紀
2021年3月	45巻4号	考証館運動の生成—水俣病運動界の変容と相思社—	平井 京之介
		国立民族学博物館のビル・ヘンダーソン制作のトーテムポールについて—	岸上 伸啓
		周縁における信仰動態と仏教的王権観念—20世紀初頭、ラオの聖者による山地の先住民カーの力の転換—	若曾根 了太
		序論 画像データベース化支援プロジェクトDiPLASの概要と関連シンポジウム	飯田 卓
2021年7月	46巻1号	応用音楽学的実践としての山口修アジア・太平洋音楽学写真コレクションのデータベース化に向けて—民族音楽学の成立概略史と1970年代沖縄・奄美の楽器の写真を手がかりに—	小西 潤子
		地域コミュニティをめぐる映像の分析—住民と研究者は、日常生活の何を写し、何を写さないのか—	原田 健一
		地域の博物館や図書館などは「地方(じかた)写真」の拠点たりえるか?	福島 幸宏
		地域研究画像のデジタル化・データベース化と研究への活用—DiPLASプロジェクトの経験—	石山 俊
		データベースと編集機能を用いた写真整理の支援	丸川 雄三

国立民族学博物館研究報告一覽

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
2021年9月	46巻2号	序文：〈特集：「上演を紡ぐ人とモノ：マテリアリティの人類学と上演芸術の研究の交差点」〉	吉田 ゆか子
		「機能」と「隠喩」をこえて—ビデオダンス『テイレスィアス』における車椅子をめぐる一考察—	田中 みわ子
		パリの歌舞劇アルジャにおける有形と無形—冠、身体、ストック・キャラクター—	増野 亜子
		楽器との出会いとしての音楽の越境—日本のバリ・ガムラン演奏グループを事例に—	吉田 ゆか子
		探検家朝枝利男の修業時代—1930年のアメリカ探検隊参加までを中心—	丹羽 典生
2022年3月	46巻3号	「タケ仮説」再考—ウォーレスシアにおける植物利用からみた石器の機能論—	小野 林太郎/リクザー・フエンテス/中谷 文美/金谷 美和/上羽 陽子
		チベットの「龍神」ル(klu)の信仰について	村上 大輔
2022年3月	46巻4号	民族資料を精読する—旧オランダ領ニューギニアの犬形木製彫像—	山口 徹
		Eat a Spoonful, Speak a Night Tale: A Domaaki (Hi)story Telling	Noboru Yoshioka
2022年11月	47巻1号	イブン・アルマルズバーン著『衣服を着た多くのものよりもイヌがすぐれている件についての書』	西尾 哲夫
		Material Culture Related to Fishing and Boats in Southeast Asia	Rintaro Ono
		Structure, Building, and Conservation of Kolek Boats as Malay Traditional Boats	Mohammad Rohaizat Abdul Wahab
		Pertala Indera Boat : Historical and Cultural Aspects of Bird-Themed Boats in Kelantan, Malaysia	Mohd Nasrulamiazam Bin Mohd Nasir
		From the Site to the Museum : Archaeologically Excavated Butuan Boat Remains Displayed in the National Museum of the Philippines	Ligaya Lacsina
		Persistence of Bubo, Fish Trap in the Philippine Artisanal Fishery	Cynthia Neri Zayas
		Eco-Material Culture Study of Fish Traps in the Mekong Basin of Lao PDR	Takashi Tsuji
中国湖北省農村における日常生活と隣人関係：生産と閑暇から見る「つながり」	賈 玉龍		
2023年2月	47巻2号	序文〈特集：「客家族群範圍的變遷：『再創生』與『非創生』之間〉	河合 洋尚
		民族科學與空間分類—關於「客人」的民族誌描述及其社會上的影響—	河合 洋尚
		不穩定的邊界—從潮汕地區和台灣南部重考客家邊界—	横田 浩一
		認同的流動與形塑—台灣「新客家人運動」後的「新」客家人—	洪 馨蘭
		開發雲南礦山的“客話圈”江西人—以江西吉安人為中心—	飯島 典子
2023年3月	47巻3号	在大幡下與祖靈相聚—從越南艾人的宗教儀式看客家身份之不確定性—	吳 雲霞
		トラブルを避ける技法—オーストラリア中央砂漠におけるアナングの「酒狩り」の事例から—	平野 智佳子
		日本近代捕鯨史・序説—油脂間競争における鯨油の興亡—	赤嶺 淳
		Revisiting “Images of Other Cultures”: Impact of the 1997 Exhibition and Beyond	Kenji Yoshida
2023年3月	47巻4号	ヤキのトランスナショナルな交換	福間 真央
		コロナ禍の博物館—国立民族学博物館の取り組み—	日高 真吾
		入場者数の展示室内環境への影響の検証を目的とした特別展覧会における室内滞留者数傾向の解析	和田 浩
		みんなくSama-Sama 塾の挑戦—特別支援教育と知的障害者の生涯学習をめぐる—	信田 敏宏

国立民族学博物館研究報告一覧

発行年月	巻号	論文等タイトル	執筆者名
2023年11月	48巻1号	先住民とデジタル化する社会—先住民研究の新しい枠組みに向けて—	近藤 祉秋・平野 智佳子
		ベティス・ド・ラ・クロワ版『シンドバード航海記』より 第一航海の翻訳と注解	西尾 哲夫・岡本 尚子
		岡正雄と「ヌナミウト」—明治大学所蔵資料にみるアラスカ調査と新たな岡正雄像—	碓 陽子・柳沼 亮寿
2024年3月	48巻2号	考証館活動の成功の社会的条件—1990年代の水俣病運動界と相思社—	平井 京之介
		ノルウェーの博物館におけるデジタル施策の現状	宮前 知佐子